



開催報告：地域コミュニティ共創スキルアップ研修会（第3回）

- 福島県では、小さな拠点・地域運営組織の形成を通じて持続可能な地域コミュニティの共創を目指す持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ(共創カレッジ)に取り組んでいます。この取組の一環として、住民同士の話合いの場を円滑に運営するためのスキルなどを学ぶ全4回の連続講座「地域コミュニティ共創スキルアップ研修会」を行っています。
- 第3回となる今回は、これまでの研修で学んだファシリテーション（ファシリ）やグラフィックレコーディング（グラレコ）を現場で実践する『実地研修』を行いました。
- 実地研修では、会津若松市湊地区の地域運営組織 NPO法人みんなと湊まちづくりネットワークが主催する住民ワークショップに運営側として参加し、グループワークの進行やグラフィックレコーディングの作成を体験しました。



共創カレッジHP

開催概要

- 日時：令和6年10月20日（日）12：30～16：00
 会場：会津若松市基幹集落センター
 内容：参加者は以下の担当に分かれ、各役割を体験した
- ① 全体ファシリテーション
 - ② グループファシリテーション
 - ③ グラフィックレコーディング

参加人数：12名（5市町村の自治体職員、集落支援員、地域おこし協力隊など）

- 主催：福島県企画調整部地域振興課
 協力：NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク（住民ワークショップ主催者）
 運営：「持続可能な地域コミュニティ共創カレッジ」事務局（みらいくる）

< グループファシリの様子 >



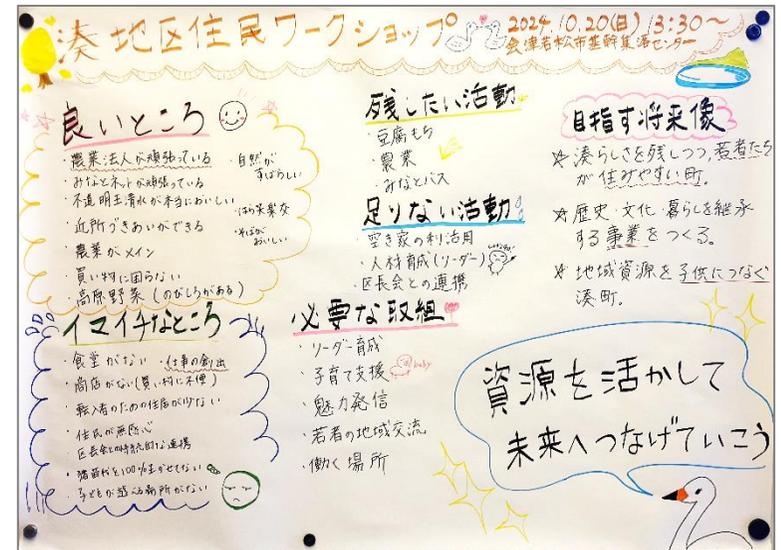
< グラレコ作成の様子 >



< グラレコ発表の様子 >



< 研修会参加者が作成したグラフィックレコーディング >



参加者の感想（抜粋）

- 今回は地域の参加人数が少なかったため、まとまりやすかったものと思います。人数が多い場合の注意点などありましたら。（集落支援員）
- ある程度地域づくりが進行している地域での研修会であったので、WSがうまく進んだと感じた。これをゼロから立ち上げようとする我が地域でのWSを実施する展開となった時に、予定しているスケジュール通りに進められるか疑問を感じた。いずれ“経験”が必要であると思う。（自治体職員）
- 実際に地域の話し合いを体験でき、また、当職に至ってはグラレコも携わらせていただいたので、貴重な経験をさせていただいたと思っております。（自治体職員）